稲弓会ニュース

No37 .平成 27年 4月号

1. 稲弓会行事報告

◎平成 27 年度 前期行事予定

予 定 日	行 事 内 容	場 所
平成 27 年 5 月 4 日(月)	第 61 回早慶明三大学対抗遠的大会	明治神宮
5 月 31 日(日)	第 79 回高柳杯 50 射会	早大第 2 道場
6 月 5 日(金)	第 22 回ゴルフコンペ	習志野 CC
6 月 6 日(土)	平成 27 年度総会及びホームカミングデー	新宿住友クラブ
6 月 14 日(日)	第 167 回三田稲門戦 12:00 開始	三田綱町道場
6 月 21 日(日)	第 45 回全関東 OB 対抗戦	日本武道館

尚本年の総会及びホームカミングデーは 6 月 6 日(土曜日)住友三角ビルにてゲストは S40、S50、S60、H7、H17、H27(3 月)卒部の方達です。ご参加のほどよろしくお願い申し上げます。

◎稲弓会合宿

(10 月 4 日 5 日 於 泉山荘(石和温泉))

▲稲弓会合宿の様子

＊下山氏(S51)よりコメントをいただきました＊

平成 26 年 10 月 4 日から恒例の稲弓会合宿が石和の泉山荘にて行われました。今回は残念ながら雨中での合宿となりましたが参加者 18 名で和気あいあいながら有意義な 2 日間を過ごせました。また今回も細井先生に指導者の立場で参加いただき適切なご指導をいただきましたがこれが最後の合宿となってしまいました。

◎都学連 OB 射会

(11 月 9 日 於 日本大学)(3 人立 12 射)

11 月 9 日(日)恒例の都学連 OB 射会が日大道場にて行われました。16 校 38 チーム(110 余名)の参加でした。

稲弓会は小笠原会長以下 4 チームが参加しました。

山本氏(S59)の 12 射 8 中が矢頭で長谷川氏(S44)小川さん(S53)の7中と続きましたが残念ながら入賞を逃しました。

[OB 参加者]

小林氏(S32)、小笠原氏(S36)、黒川氏(S38)、武田氏(S40)、宮崎氏(S41)、井川氏(S57)、西田氏(S57)、穐原氏(S58)、佐藤氏(S59)

＊武田氏(S40)よりコメントをいただきました＊

「都学連 OB 戦(11 月 9 日)に参加して」

楽しませていただきました。久しぶりに「WASEDA」のワッペンを付け参加しました。10 校以上が参加 1 チーム 3 人、3 人の年齢の合計で 3 クラスに設定されている。どのクラスに参加するのが有利になるかは幹事の腕次第。でも所詮は当たりが無ければ話にならない。射候は立射 4 矢 3 回で 12 射。稲弓会の参加は 12 名で私は小林先輩、小笠原先輩のチームに入れていただき合計年齢 ***23？才***、戦果は私が足を引っ張り入賞には遠かったがチームの感触を久しぶりに味わいました。主に稲

弓会の方々と談笑させて頂きましたが、私は他校との交流も無いまま過ごしてきたので主に著名な方々も含め皆さんの射を拝見しました。若い方々の揺るぎない射。最高年齢 91 歳の方がいらっしゃいましたが、まだまだ矍鑠として立派な射を拝見し目標にして行きたいなと思いました。稲弓会の方も小川女子は入賞し奮闘されました。願わくは稲弓会も若い方々も参加して頂き同年代の方との競射も拝見したかったと思いました。射位に立った私、緊張しながら会に入る。弓手 OK 狙い OK これで離れれば当たる！やった！矢は私の思惑通り的の方に飛んで入ったが無残にも的には当たらず前の方に。弓手の押し方が甘かったのか、すぐ反省して 2 本目は押し方は十分に離れへ。今度は妻手が緩んで後ろの方へ。あれこれするうちに 12 本は射終わってしまった。最後は自分の修行の未熟さを思い知らされて終了。久しぶりに対校戦の感触を味わい（但し楽しみながら）、高揚感も有り、戦果は残念ではあったが来年は戦果が出るように修練したいと感じた 1 日であった。来年は私イロ男・・・・・・・？ではない。歳男である。

弓の修練も ***<u>これからだ！！</u>***

<u>今年は 11 月 15 日(日)の予定です。参加費は稲弓会負担です。奮ってご参加ください。</u>

◎駿弓倶楽部戦

（11 月 30 日　於 生田）（6 人立 2 立 20 射）

稲弓会 125－106 駿弓倶楽部

よって稲弓会の勝ち

16 中　西野氏 （S58）
14 中　庭田氏 （S61）
13 中　佐々木氏 （S43）
11 中　畠中氏 （S29）
　　奥村氏 （S62）
10 中　小島氏 （S38）

[OB 参加者]

小林氏（S32）、井上氏（S33）、内海氏(S36)、黒川氏（S38）、米田氏(S41)、神谷氏（S43）、長谷川氏(S44)、行方氏（S45）、村松氏（S47）、井川氏（S57）、穐原氏（S58）、佐藤氏（S59）、山本氏(S59)

矢頭を駿弓倶楽部の五十嵐氏（H26）の 18 中に譲りましたが、駿弓倶楽部を圧倒する参加者で勝利することができました。

◎第 166 回三田稲門戦

（12 月 7 日　於 東伏見）（6 人立 2 立 20 射）

稲弓会 145－147 三田弓友会

よって稲弓会の負け

	【早稲田方】		【慶應方】
16 中	庭田氏 （S61）	18 中	磯野氏 （H24）
15 中	西野氏 （S58）	17 中	根谷崎氏 （H1）
14 中	横山氏 （H11）	14 中	小倉氏 （H25）
13 中	滝本氏 （S49）	13 中	斎藤氏 （S44）
	岡本氏 （H25）		月田氏 （S49）
12 中	奥村氏 （S62）	12 中	本間氏 （S58）
	佐々木氏（H25）	11 中	櫻川氏 （S31）
	平山氏 （H25）		増渕氏 （S50）
10 中	小島氏 （S38）	10 中	鈴木氏 （S60）
	穐原氏 （S58）		寺田氏 （H19）

[参加者]

畠中氏(S29)、井上氏（S33）、小笠原氏（S36）、内海氏（S36）、守谷氏（S36）、黒川氏（S38）、加藤氏（S39）、原田氏（S39）、米田氏（S41）、稲垣氏(S41)、佐々木氏(S43)、長谷川氏(S44)、行方氏(S45)、石原氏（S51）、小川氏(S53)、井川氏（S57）、西田氏(S57)、山本氏（S59）、森住氏（S59）、佐藤氏（S59）、茶圓氏（H26）

連敗が続く三田戦ですが、今回は若手の参加と頑張りもあり最期の 4 矢まで勝敗のゆくえが分からない展開でしたが、連続 4 本外し 2 本差の敗退となりました。前々回 128 中、前回 114 中から大幅に的中を増やし、又参加者数でも慶応方を圧倒、懇親会の席では慶応も敗退を覚悟したとの言葉がありました。しかし負けは負けで、又次回慶応も気を引き締めてくると思われ、さらに準備を重ね次回こそ打倒慶応を実現させましょう。

◎訃報

河野俊夫先輩（商学部、S18 年卒）におかれては平成 27 年 2 月 17 日に逝去されました。享年 95 歳。

尚、河野先輩が在学中に学徒出陣されるにあたり「武運長久」を祈念して、田中総長、浦上栄師範、村井五郎先輩が揮毫された日章旗の写真が弓道部百年史 51 頁に掲載されています。

▲三田稲門戦終了後の茶話会の様子

◎第 21 回　稲弓会ゴルフコンペ

（12 月 4 日　於 アスレチックゴルフ倶楽部）

優勝	渡辺氏(S43)	グロス	92	ネット	71.6
ベスグロ	鈴木氏(S43)	グロス	83	ネット	77

[参加者]

井上氏(S33)、小島氏(S38)、松岡氏(S38)、山口氏(S40)、
田房氏(S43)、行方氏(S45)、岩田氏(S45)、村松氏(S47)

今回は田房氏のホームコースで開催、大変フラットなコースで楽しくプレイすることができました。生憎の空模様でキャンセルも出て、多少参加者の少ないコンペとなりました。残念ながら今回も 43 年組から、それも渡辺氏の連続優勝となり、皆さんの一層の奮起が望まれます。

次回は 6 月 5 日(金)、習志野 CC で開催致します。奮ってご参加ください。費用は食事つき 13,400 円を予定

尚、今回より春のコンペ優勝者には、11 月に行われる稲門体育会主催のコンペに代表として参加して頂きます。これを機会に弓を引いておられる方も、又引いていない方も、ぜひゴルフコンペにご参加いただければ幸いです。

稲弓会員へのお願い

・OB 弓置場に弓矢を置かれる場合には、「稲弓会会員弓具収納規則」に従うこと。
・弓二張、矢筒二本まで、記名または名札を付け、一年間毎に申請すること。
・小物(ユガケ、弦巻など)、衣類は収納できません。
・大学の弓を持ち出している方は、必ず実技係へ申し出頂き、原則的には返却をお願いします。

◎細井先生の追悼射会及び偲ぶ会

（12 月 13 日　於 東伏見）

訃報

細井英彦稲弓会顧問が平成 26 年 11 月 23 日ご逝去され、追悼射会及び偲ぶ会が、12 月 13 日(土)東伏見弓道場にご親族をお迎えし開催されました。先輩の遺徳を慕い、30 余の会員が追悼射礼を行い、又偲ぶ会にも 70 余の会員が集い、畠中先輩をはじめ学生に至るまで各々思い出深い話を披露されました。

顧問は弓道部監督、学院、早実の監督を歴任し、浦上同門会等その足跡は大変大きく、話の尽きぬ中、
顧問と幾度となく歌った「都の西北・・・」を本当に声高らかに歌いあげ盛会のうちに散会となりました。

▲細井先生の追悼社会及び偲ぶ会　上座の様子

◎新年射会

（1 月 11 日　於 東伏見）

新年射会は礼射、米的、紅白、角的、射割り、絵的、三晃、尺二の合計。

優勝	奥村氏(S62)
第 2 位	井川氏(S57)
第 3 位	長谷川氏(S44)
金的	後藤氏(S39)
銀的	高橋君(学生)

[参加者]

畠中氏(S29)、井上氏(S33)、小笠原氏(S36)、内海氏(S36)、黒川氏(S38)、原田氏(S39)、行方氏(S45)、村松氏(S49)、佃氏(S48)、滝本氏(S49)、下山氏(S51)、小川氏(S53)、西田氏(S57)、西野氏(S58)、穐原氏(S58)、佐藤氏(S59)、

◎第 17 回　一橋梓会戦

（2 月 1 日　於 一橋大学)(各 20 射上位 10 名の的中合計）

稲弓会 91－105 三田弓友会

よって稲弓会の負け

11 中　小島氏　(S38)
10 中　岡本氏　(H25)
　　茶圓氏　(H26)
9 中　小笠原氏(S36)
　　武田氏　(S40)
　　佐々木氏(S43)
　　長谷川氏(S44)
　　奥村氏　(S62)
8 中　瀧本氏　(S49)
7 中　小林氏　(S32)
　　佃氏　(S48)
5 中　畠中氏　(S29)
　　内海氏　(S36)
　　黒川氏　(S38)
　　後藤氏　(S48)
　　井川氏　(S57)
　　西野氏　(S58)
3 中　村松氏　(S49)

一橋梓会戦で初めての敗戦。参加者の皆さんが実力とかけ離れた成績で油断があったのか？一橋梓会は昨年と同じ的中。

◎弓道研究会

（2 月 22 日　於 東伏見）

今回は、これまでの研究会とは少し趣向を変え、東伏見の教室で「弓道随談」と題した落語を鑑賞しました。演者は林家木久扇師匠のお弟子さんで、稲弓会員（平成 4 年理工学部数学科卒）の林家久蔵師匠こと木村朋幸氏です。ご来賓 4 名、会員 18 名、学生 4 名、事務局を含めて総勢 29 名が堂々3 時間半、師匠の話芸に酔い痴れました。

学院や大学の弓道部生活や落語界での下積み時代のおもしろいエピソードなどが次々と紹介され、三十三間堂の通し矢の解説の後、それにちなんだ古典落語の『紀州』を熱演されました。

最後は会場のリクエストに応え、もっとも得意だという落語『目薬』を披露され、爆笑の渦の中、閉会しました。

久蔵師匠は何気ない話でも「話術」として昇華させてしまう、まさに「はなしか」という言葉がぴったりな方で、あらためて稲弓会員の層の厚さ、奥行きの深さを痛感いたしました。

S59 卒　佐藤　記

▲落語を披露される林家久蔵(木村朋之氏)

◎E-mail　移行のお願い

現在、稲弓会から会員の皆様への各種ご連絡は E-mail 及び郵送にて行っておりますが、経費削減の為に E-mail でのご連絡をお願いしております。

現在郵送にて連絡を受け取っている方で、E-mail 利用が可能な方につきましては、下記の担当者宛てに E-mal アドレスをご連絡いただきますようお願いいたします

E-mail 連絡担当：下山隆明(S51)
shimoyama@suou.waseda.jp

◎平成 27 年度指導陣

監督　庭田 裕巳氏　昭和 61 年卒
女子監督　丸田 綾希氏　平成 19 年卒
相談役　米田 文彦氏　昭和 41 年卒
コーチ　原田 征洋氏　昭和 39 年卒
　　武井 一誠氏 昭和 49 年卒
　　橋本 和久氏　平成 27 年卒
　　村田 あすか氏　平成 27 年卒

※昨年度までコーチをされていた 小澤翔一氏（H25）は退任されます。

◆寄稿◆OB・OG のあの頃、今…

会員の皆様のあの頃・今をお伝えいたします。今号では、昭和 60 年卒の平敏宏氏と昭和 37 年卒の舩戸捷壽氏に寄稿していただきました。

昭和 60 年卒　平　敏宏氏

「それでも私が弓を続ける理由」

四年時に主将として二十一年ぶりの王座優勝を果たすことができました。稲垣先生や細井先生、諸先輩方からの手厚いご指導・ご支援、当時の全部員の力があったからに他なりませんが、大学から弓道を始めた私自身は決して上手な射手ではなく、精神的に特別強くもないので（生意気とか僭越とは言われましたが…）、卒業から三十年になる今振り返っても、そんな自分が、何故あの時期、あれだけ中てることができたのか、不思議でなりません。

正直、卒業時には弓はもういいかなと思っていました。引退後、早気が極端に悪化し、まともに弓を引けない状態に陥ったからです。就職後、会社の弓道部に所属はしましたが、大会前に少し稽古するだけで、冬場は弓を手にすることもなく、お世辞にもまじめに取り組んでいたとは言えませんでした。

転機は十年前、初めて出席した富山県連の祝賀会でした。当時の理事長の一言に大変悔しい思いをし、ちょうど家庭的、仕事的に少し余裕が出てきたこと、自宅近くに弓道場があったことなどから、以来、冬ごもりをすることもなく、週に二、三度は稽古に出向き、審査も受けるようになりました（六年ほど前に五段を取り、今は錬士に挑戦中です）。

体力も筋力も落ちて矢数はかけられませんし、なかなか思った通りの弓が引けず、的中もあがりません。伸びも詰めも不十分で、油断すればつい早気の虫が顔をのぞかせます。周囲に日置流印西派の指導者は皆無で、いろいろ射癖を抱えて一人思い悩む日々です。それでも私が弓を続けるのは、今までの出会い（日置流印西派、早稲田弓道、稲垣先生はじめ諸先輩方、同期や後輩の皆さん）を大切にしたいとの思いと、結局のところ弓が好きということにつきます。

今後は都合さえつけば、三月十四日に開業した北陸新幹線に乗って、稲弓会の稽古や試合に足を運びたいと思います。また、富山へお出かけの方は是非、声をおかけください。これからもよろしくお願いいたします。

昭和 37年卒　舩戸　捷壽氏

「夢はうつつか！甘泉園あれこれ」

光陰矢の如し　、夢は荒野を　なぞという文言がちらちら頭に浮かぶ歳となり岩田君からこの記事を書くよう依頼され安請け合いしたもののなかなか文章が浮かんでこない。元来出来の悪い人間がうまく書こうなんて思うからいけない。仕方がないので早稲田の弓道部に入ったいきさつやら昭和 30 年代の思い出など思いつくままに書いてみる事にした。文章に誤解や差しさわりがあったらあのバカがと笑ってご勘弁ください。

昭和 33 年の秋、教育学部の同じクラスの松浦尚美君、故谷口尚平君に誘われ土田紘久君と二人で入部しました。4 年生には主将大野さん副将内藤さんを擁し弓道部史上最強と言われた時でした。当時は新入生の入部志願者は百人を超え夏の日光合宿での特訓で半数は脱落したようです。幸か不幸か私は泣く子も黙ると言われた先輩方がシーズンを終えてからの入部でしたので合宿や日常の道場の御勤めの厳しさを知ることなく、勝負の厳しさから解放されて優しくなった先輩方に手とり足とり指導してもらいました。春に入部していたら軟弱な私は続かなかったでしょう。道場の環境も素晴らしく甘泉園の中に平屋造りで緑の芝生の矢道、広い安土道を挟んでグランド、裏手には芝生の少し盛り上がった小さな丘があり下っていくと牛ガエルが鳴く池やテニスグランド、合宿所、そこを抜けると面影橋神田川と今は昔の風景です。道場脇の小径では垣根越しに散策中の学生たちが的中するごとに羨望の眼差しで見物していました。結構女性ファンもいてデートなどしたものです。道場には住み込みのおばちゃん夫妻がいて夜何時までも練習出来ました。甘泉園の入り口正面に開店したばかりの喫茶店風の「かにや」というお握り屋さんがあり、弓道部のお気に入りの店でした。また入り口の並びに久松やというラーメン店があり夏の暑い最中に出前してもらって上半身裸で食べたものです。部員の間では冗談に「オソマツ」と言っていました。今の学生と違ってよく言えば野武士風の気質、裸足で引いて当たり前ほとんどの部員がたばこを吸っていたのではないでしょうか。寒中は道場の畳の真ん中の四角い大きな火鉢で暖をとりながら弓道談義をしたものです。弓を始めて間もない雪の降る寒稽古で、大野先輩や大沼先輩から勝手を捻って引いて放なせと言われ、無我夢中で的に向かった事が半世紀以上経った今でも昨日の光景のようで私の弓道の原点だったと思います。当時は村井五郎先輩、高柳義三稲弓会幹事長（現会長）、鈴木金太郎部長、監督は血気盛んな稲垣源四郎師範思い出深い方々です。

他大学に負けて帰部すると必ず村井五郎先輩から整列させられて叱責がありました。白髭を震わせて怒られ怖かったのですが、普段は優しく何かと御手製の短冊に絵と文章を書いて部員に下さりました。合宿などでも的中上位者にはメダルなど貰って嬉しかったものです。根っからの早稲田弓道部を愛してやまない方でした。村井先輩の志を引き継いだのが細井英彦先輩だと思います。昨年その細井先輩が急逝されましたことは悔やんでも悔やみきれませんが、残された多くの先輩方にその志は残されていると思います。

弓道部の最大の思い出と言えば何といっても第九回全日本学生弓道選手権大会、第一回以来の優勝です。私たちが最上級生になった当時、弱小の世代とみられていました。3 年生の時レギュラーは鈴木将夫君箱守禎一君ぐらいで 2 年生に負けていました。しかし岩崎隆主将の下、遠ざかっていた全日本での優勝を明確に目指すことを誓いました。優勝するにはどうすればよいか。他校に劣っているのはなにか。知恵を出し合った結果は体力胆力を鍛えることでした。ランニングの得意な鈴木副将の下、練習後の走りと体操、弓道になかった練習法を取り入れました。又選手候補も精鋭主義をとり、兎に角日本一を獲る、そのためには 4 年生の粛清というかなり乱暴なことまでしました。岩崎君の強烈なリーダーシップが発揮されました。今でも馘首になった同期生から、あの時どういう理由で退部させられたかわからない、と言われることがあります。優勝目指して身を削ったのです。効果は全体のレベルアップにつながり部の連帯感につながりました。そして都学生大会優勝そして、精鋭 10 人で乗り込んだ京都全日本で優勝出来ました。目標をたてて努力した結果でした。4 年三人（岩崎隆、鈴木将夫、箱守禎一、）三年四人（森昌治、小島英靖、青山隆男、大山昭典）2 年一人（吉田滋）、そして神林正興と主務の私、チームワークは抜群でした。レギュラーに抜擢した二年生は元監督の故吉田滋君素晴らしい後輩でした。この優勝の陰にはレギュラーに漏れた多数の部員のバックアップがありました。多くの部員が競い合い学年の別なく実力主義で臨んだ結果です。また小笠原啓倫（現稲弓会長）先輩たちが類い稀な集中力をもつ岩崎隆君を主将に指名したことで、次に続く森君たちや吉田君たちの大活躍への道につながったと思います。

昭和 43 年芝田町でロシア料理の店を開店してから約半世紀、同期の諸君や先輩、後輩の名前をあげたらきりがないほど多くの人々に助けられて来ました。私のおぼつかない料理を美味しいと言って食べてくれた後輩たち。思えば北朝鮮で生まれ死線を彷徨いながら戦後母と帰国し、運よく早稲田、弓道部に入り、現在此処お茶の里、静岡市に居る自分が不思議です。成行きの人生ですが誰かに導かれているとしか思えません。私事ですが平成 4 年に再婚し静岡に来て第二の人生を始めるにあたって、静岡在住の先輩後輩に身に余る支援をいただき弓道部の有難さを実感しています。55 歳で長男、61 歳で二男をもうけて未だPTAを卒業出来ていません。生活や弓との戦いはまだまだ続きます。 生涯現役が私の夢です。

◎平成 27 年度新会員紹介

2 月 7 日の送別会にて 15 名の方が卒部されました。
以下、卒業生を紹介致します。

永山豪朋	SNBC 日興証券
梅原丈博	未定
橋本和久	早稲田大学大学院先進理工学研究科
妹尾遼介	富士急行
河本悠輔	広島銀行
鈴木駿吾	早稲田大学大学院教育学研究科
髙間光司	タカラベルモント
野村勇太	早稲田大学大学院先進理工学研究科
藤山慶一	中央大学大学院
松野祥大	住友生命
熊田ゆい	在学
村田あすか	横河電機
安宅麻貴	四国銀行
皆川彩	第一生命
守田稀実	SNBC 日興証券

以下の OB、OG の方が大学院、学部を卒業されました

岡本貴行	学校法人　修道学園
千代間大明	三菱商事
黒島碩人	味の素ジェネラルフーズ
小澤翔一	フロムスクラッチ
茶圓恵太	武田薬品工業
桑折由香	新日鉄住金ソリューションズ

以上、皆さんの新しい社会での活躍をお祈りしています。

2. 学生試合結果

早稲田大学男子部はⅡ部リーグを優勝しⅠ部リーグとの入れ替え戦に挑んだものの、慶応義塾大学に敗れⅡ部残留。
女子部はⅠ部リーグ３位。

【男子】Ⅱ部リーグ

	早稲田	東京	東京工業	中央	國學院	勝敗	順位
早稲田		× 123	○ 146	○ 126	○ 129	**3 勝 1 敗**	**1 位**
東京	○ 124		× 107	× 112	× 119	1 勝 3 敗	4 位
東京工業	× 118	○ 115		○ 118	○ 124	3 勝 1 敗	2 位
中央	× 115	○ 125	× 107		○ 113	2 勝 2 敗	3 位
國學院	× 118	○ 123	× 118	× 110		1 勝 3 敗	5 位

順位決定戦：早稲田大学　126 中―123 中　東京工業大学　よって、早稲田大学のⅡ部優勝決定

入れ替え戦：早稲田大学　132 中―136 中　慶応義塾大学　よって、早稲田大学のⅡ部残留決定

【女子】Ⅰ部リーグ

	早稲田	桜美林	明治	日本	慶応義塾	勝敗	順位
早稲田		× 67	○ 65	× 60−7	○ 71	2 勝 2 敗	3 位
桜美林	○ 70		○ 69	○ 64	× 55	**3 勝 1 敗**	**1 位**
明治	× 61	× 56		× 65−3	× 58	0 勝 4 敗	5 位
日本	○ 60−8	× 57	○ 65−6		× 56	2 勝 2 敗	4 位
慶応義塾	× 62	○ 65	○ 59	○ 62		3 勝 1 敗	2 位

よって、早稲田大学のⅠ部残留決定（入れ替え戦により法政大学がⅠ部昇格、明治大学がⅡ部降格）

◎平成 27 年度リーグ戦結果　詳細

■男子

◎リーグ戦第一週　対國學院大學

（9 月 14 日　於 学習院大学）

早稲田 129 中－118 中 國學院

皆中　永山 豪朋　（文構 4 年）
17 中　大久保 侑　（スポ 3 年）
　　島村 達哉　（スポ 3 年）

◎リーグ戦第三週　対中央大学

（9 月 28 日　於 慶応義塾大学）

早稲田 126 中－115 中 中央

18 中　高間 光司　（スポ 4 年）
　　大久保 侑　（スポ 3 年）
　　中村 浩太郎（創造 2 年）

◎リーグ戦第四週　対東京工業大学

（10 月 5 日　於 日本大学）

早稲田 146 中－118 中 東京工業

皆中　大久保 侑　（スポ 3 年）
19 中　河本 悠輔　（商 4 年）
　　高間 光司　（スポ 4 年）
　　中村 浩太郎（創造 2 年）
18 中　永山 豪朋　（文構 4 年）
　　梅原 丈博　（社 4 年）
17 中　清水 雄貴　（人 2 年）

◎リーグ戦第五週　対東京大学

（10 月 12 日　於 中央大学）

早稲田 123 中－**124 中 東京**

皆中　高間 光司　（スポ 4 年）

17 中　永山 豪朋　（文構 4 年）

清水 雄貴　（人 2 年）

◎リーグ戦順位決定戦　対東京工業大学

（10 月 19 日　於 國學院大学）

早稲田 126 中－123 中 東京工業

19 中　高間 光司　（スポ 4 年）

大久保 侑　（スポ 3 年）

中村 浩太郎（創造 2 年）

◎リーグ戦入れ替え戦　対慶応義塾大学

（10 月 26 日　於 法政大学）

早稲田 132 中－**136 中 慶応義塾**

18 中　橋本 和久　（先進 4 年）

河本 悠輔　（商 4 年）

大久保 侑　（スポ 3 年）

17 中　永山 豪朋　（文構 4 年）

高間 光司　（スポ 4 年）

清水 雄貴　（人 2 年）

■女子

◎リーグ戦第一週　対慶応義塾大学

（9 月 14 日　於 法政大学）

早稲田 71 中－62 中 慶応義塾

19 中　光明 英夏　（法 2 年）

18 中　鈴木 麻理　（文 3 年）

17 中　安宅 麻貴　（スポ 4 年）

吉田 友理子（スポ 3 年）

◎リーグ戦第三週　対日本大学

（9 月 28 日　於 國學院大學）

早稲田 60 中(7)－**60 中(8) 日本**

18 中　安宅 麻貴　（スポ 4 年）

◎リーグ戦第四週　対明治大学

（10 月 5 日　於 東京農業大学）

早稲田 65 中－61 中 明治

17 中　安宅 麻貴　（スポ 4 年）

吉田 友理子（スポ 3 年）

皆川 彩　（商 4 年）

◎リーグ戦第五週　対桜美林大学

（10 月 12 日　於 日本大学）

早稲田 67 中－**70 中 桜美林**

18 中　皆川 彩　（商 4 年）

17 中　吉田 友理子（スポ 3 年）

光明 英夏　（法 2 年）

◎女子東西学生弓道選抜対抗試合

（11 月 24 日　於 伊勢神宮弓道場）

平成 27 年度女子部リーグ個人的中 3 位(0.838)だった安宅麻貴(スポ 4 年)、吉田友理子(スポ 3 年)の 2 名が出場した。

（東軍、西軍に分かれ 10 人立 20 射による団体戦）

東軍 141 中－**169 中 西軍**

安宅	3	4	3	2	3	15 中
吉田	3	2	2	4	4	15 中

◎平成 27 年度新人戦・女子新人戦

▼新人戦・男子（6 人立 20 射）（シードの為、2 回戦から）

・2 回戦　対　玉川大学(3 月 8 日　於 日本大学)

早稲田 82 中－60 中 玉川

新人賞　志岐 伊織（スポ 1 年）　18 中

・3 回戦　対　法政大学(3 月 14 日　於 東京農業大学)

早稲田 77 中－**88 中 法政**

よって 3 回戦敗退

▼新人戦・女子（4 人立 12 射）（シードの為、2 回戦から）

・2 回戦　対　一橋大学(3 月 14 日　於 國學院大学)

早稲田 28 中－14 中 一橋

新人賞　小田代 采夏（人 2 年）　10 中

・3 回戦　対　首都大学東京(3 月 15 日　於 明治大学)

早稲田 33 中－28 中 首都大学東京

新人賞　今井 いずみ(法 3 年)　10 中

小田代 采夏(人 2 年)　10 中

・準決勝　対　日本大学(3 月 21 日　於 法政大学)

早稲田 26 中－**39 中 日本**

・三位決定戦　対　法政大学(3 月 22 日　於 中央大学)

早稲田 19 中－17 中 法政

よって第 3 位入賞

3. 男子定期戦試合結果

◎筑波大学定期戦　(2 月 28 日　於 早稲田大学)

早稲田 A 76 中-**早稲田 B 91 中**-筑波 79 中　(6 人立 120 射)

18 中　中村 浩太郎 (創造 3 年)

17 中　島村 達哉　(スポ 3 年)

4. 女子定期戦試合結果

◎筑波大学定期戦　(3 月 1 日　於 早稲田大学)

第一試合(3 人立 20 射)

早稲田 A51 中－46 中 筑波 A

早稲田 B39 中－35 中 筑波 B

17 中　吉田 友理子 (スポ 4 年)

光明 英夏　(法 3 年)

森川 未和子 (スポ 2 年)

第二試合(4 人立 12 射)

早稲田 25 中－**39 中 筑波**

公式 Twitter, Facebook, ブログやっています！

部員が運営している SNS やブログをご存知でしょうか？ Twitter では試合の最新情報、Facebook では合宿や送別会の写真などを公開しています。ブログでは部の活動報告をしておりますので、ぜひ御覧ください。

Twitter：https://twitter.com/wasedakyudo125

(アカウント：@wasedakyudo125)

Facebook：Facebook ページ内で「早稲田大学弓道部」と検索して下さい

ブログ：http://ameblo.jp/waseda-kyudo/

◎平成 27 年度弓道部役職

主将	大久保　侑　(スポ4年)
副主将	手塚　達也　(政経 4 年)
主務	島村　達哉　(スポ 4 年)
女子部責任者	森　みのり　(商 4 年)
女子部主務	植松　優好　(商 4 年)
OB 係長	戸谷　勇輝　(教育 3 年)

◎主将(大久保侑)からの挨拶

今年度、弓道部の主将を務めさせて頂きますスポーツ科学部所属の大久保侑と申します。稲弓会の皆様には毎年たくさんの声援、援助などを頂き誠に感謝しております。しかしながら弓道部、特にも男子部は秋のリーグ戦で三年連続での一部復帰を逃しているという状況にあり、皆様のご期待に応えられておりません。また、力のあった前年度の四年生の方々が卒部され、厳しい状況が続いております。ですがこの状況においても部員の志は高く、部員の多くが昨年度よりも良いスタートが切れているように個人的には思っております。また今年度は指導陣の交代もありましたので、新たな男子部を形作っていけるチャンスの年でもあります。先輩方からの伝統を受け継ぎながらも、新たな取り組みも積極的に行い、一部復帰だけではなく日本一を勝ち取ることのできるチームを目指して運営していきますので、今一度ご声援のほど宜しくお願い致します。

◎女子部責任者(森みのり)からの挨拶

こんにちは。本年度女子部責任者を務めさせて頂いております、商学部 4 年の森です。今シーズン、早稲田大学弓道部では「追求」、そして女子部では「常勝」を掲げています。技術の向上のために練習方法を追求すること、意識の持ち方を追求すること、試合で勝つためにどうすれば良いのかを追求すること。これらはおのずと常勝へとつながります。早稲田の活躍には、部員一人ひとりの厳しい追求が必要です。挫けそうになっても、決して諦めないでほしいと思います。早稲田大学弓道部には、それを支える仲間がいます。

ここまで、本年度掲げるテーマについて述べてきましたが、ただこれを意識して練習していれば良いのではありません。早稲田大学弓道部が最終的に目指すのは「日本一」です。テーマは、その意識を濃くしていくためのものにすぎません。漠然と日本一を目指すのではなく、本気で日本一を獲りにいきます。

■　　稲弓会　練習会について（ご案内）

★もう一度早稲田の杜で弓を引いてみませんか？

稲弓会では会員メンバーで平成 23 年から月に 1 回練習を行っています。学生時代から弓を触っていないという多くの人も弓を再開して練習や対外試合に参加されています。

会員各位のご参加をお待ちしています。

【目的】

①弓術の向上を図り、稲弓会の対外試合の戦績アップを目指します。

②現役ばかりでなく、稲弓会も積極的に弓を引く場面を作り、早稲田弓道全体の活性を図ります。

③「早稲田で弓を引いた」という共通の経験を軸に世代を超えたメンバー間の交流を図ります。

弓を再開したいという方大歓迎です。

弓具のない方相談に応じます。

【平成 27 年稲弓会練習日程】 ※変更になる場合もあります。

4 月 26 日（日）	5 月 17 日（日）
6 月 7 日（日）	7 月 19 日（日）
8 月 30 日（日）	9 月 27 日（日）
11 月 1 日（日）	11 月 22 日（日）
12 月 23 日（水）	（平成 28 年 1 月以降は未定）

【場所】弓道部第2道場（地下鉄早稲田駅、徒歩 3 分程度）

早稲田大学西早稲田キャンパス、旧早稲田実業校舎屋上

【費用】参加料無料

【時間】12:00～15:30 分程度

【練習内容】自由練習（立ち、一手講評などあり）

【連絡先】

練習会に参加希望（見学希望）あるいはご質問のある方は

下記アドレスまでメールをお願いいたします。

井川裕史（S57）ANA33496@nifty.com

下山隆明（S51）shimoyama@suou.waseda.jp

[編集] 平成 26 年卒　関根 貴広

発行・稲弓会会長　小笠原 啓倫

弓道部HP　http://www.waseda-kyudo.net/

〒202-0021　東京都西東京市東伏見3-5-7

東伏見スポーツホール地下1 階

TEL：0424-65-5455　FAX：0424-65-6419

稲弓会会費振込先

郵便局振込番号　00110　3　108277　加入者 稲弓会